

～夢と希望と笑顔あふれる新生小学校～



しんせい

<https://www.tachikawa-edu.jp/es18/>

メール：tachikawaes18@koumu-tachikawa.jp

特別号-1

令和7年3月10日
立川市立新生小学校
校長 千葉 貴樹
立川市富士見町6-69-1
TEL 042-524-3148
FAX 042-529-0993

学校確認テストのまとめについて

—「見つめ 気づき かかわって つなげる」学校経営の推進—

校長 千葉 貴樹



今年度、本校では「課題解決力」の向上に向けて、ICT活用の推進等に重点を置き、様々な授業改善を進めてまいりました。

その状況について、各ご家庭の私費会計でご購入いただいた、国語の「学力確認テスト」(6月と12月の2回実施)の結果を基に、以下の通り、まとめましたので、お知らせさせていただきます。

1 同テストのまとめを行うにあたって

まとめを行うにあたって、大切にすることは以下の6点です。

(1) 次のキーセンテンスを着眼点しています。

- 2回分の目標値との差(達成率)での比較で変容把握
- ICT活用等の学力向上策の効果検証
- ポジティブ思考でのまとめ
- 成果を中心とした全学年での活用

(2) 教員一人一人の授業改善の目標設定や全教員で行う授業研究に活かしていきます。

(3) 校内授業研究や学力向上、ICT活用推進等に関連する分掌の長、又は学年主任はそれぞれの分掌の改善・充実に活用していきます。

(4) 来年度の学校経営計画に活かしていきます。

(5) 今回のまとめは、一つの見方・考え方によるものです。今後、今回のまとめだけではなく、個々の教員が行うまとめも活かして、「デジタルを活用した、子どもたちの学力向上に資する授業改善」をさらに推進していきます。

(6) 保護者・地域の方だけではなく、学校運営協議会の委員の方にもお知らせします。

2 分析及びそれに基づくまとめ

分析したことを基にして、以下の5点からまとめをしました。

まとめ-1

◆第2学年以上における国語全体の平均正答率を、前回と今回それぞれ目標値の差で比較したところ、3つの学年で向上しました。

◆向上した学年に着目すると、学習領域では「話すこと・聞くこと」と「読むこと」が向上しました。

⇒今後も引き続き、デジタル教科や協働学習支援ツール等のICTを活用して、「読むこと」や「話すこと・聞くこと」を重視して学習を展開していきます。(※1)

まとめ-2

◆全校的な傾向として、記述式問題等で無回答が減少し、誤回答でも惜しい誤答が増えて、分からないなりに、自分で何とか解決しようとする様子が見られました。

◆向上した学年に着目すると、「主体的に学習に取り組む態度」や「思考・判断・表現」が向上しました。

⇒今後も引き続き、ICTを活用して、主体的に考える、表現する、話し合う学習を重視し、「子どもに委ねる授業」を更に進めていきます。

⇒その際、6年間を見通した国語学習の系統性を意識して学習を展開する必要があると考えています。

まとめ-3

- ◆向上した学年においても、「漢字・言語事項」や「書くこと」等に課題が見られます。
- ◆しかし、国語に苦手意識が強い傾向のある学級や子どもたちに、向上していない領域に重点を置く学習は、国語の学習に抵抗感をもってしまうことが心配です。
- ⇒今後も引き続き、前述したような学習を重視し、「子どもに委ねる授業」を更に進める中で、苦手な領域への興味・関心も高め、それらの向上につなげていきます。
- ⇒「漢字・言語事項」「書くこと」については、保護者の方との連携の下、家庭学習やAI機能を搭載したデジタルドリルの活用等を通して、楽しく学べるようにしていきます。

まとめ-4

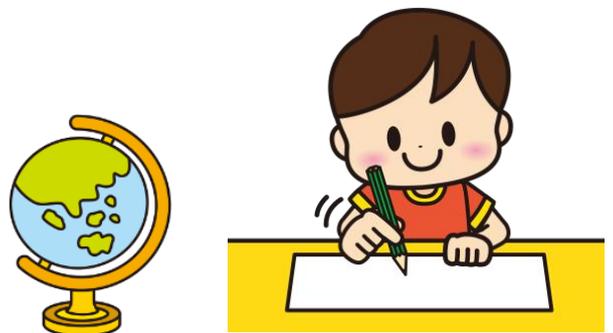
- ◆本校が重視している「情報と情報に関係付けて目的に応じて表現する内容」については、4つの学年で向上しました。
- ◆「活用力」については、2つの学年で向上し3つの学年で横ばいでした。
- ◆個々の問題に着目すると、「段落相互の関係を読み取る問題」や「叙述を基にとらえる問題」など比較・関連して考える問題については、全校的な課題があります。
- ⇒本校が向上を目指す「比較関連付ける力」は、向上が見られましたが、個々の問題を見ていくと課題も見られます。
- ⇒来年度も引き続き、比較・関連させて考える場面を重視した学習を更にすすめていきます。

まとめ-5

- ◆前述しましたが、向上した学年に着目すると、ICT活用を重視したことにより、「主体的に学習に取り組む態度」や「思考・判断・表現」が向上しました。
- ◆ICT活用に関する教員アンケートから、ICT活用により、子どもたちの学習意欲が高まったと実感する教員が多くいます。
- ◆学年・学級の状況に併せ、様々なデジタルツールや機器等ICTを効果的効率的に活用することで、子どもたちの学習意欲面や学び合い学習、思考場面で効果が上がることが考えられます。
- ⇒今後も引き続き、デジタルを活用することで、学習意欲の高揚や既習事項の確認・活用、話し合いや考える時間の確保につなげていきます。
- ⇒デジタル活用が、子どもの記憶に残りにくいことや深く考えないことにつながりかねないので発達段階に即して活用していきます。

3 おわりに

- ◆今回のまとめは、一つの見方・考え方によるもので、ポジティブ思考で成果と思われることを中心にまとめました。
- ◆何よりも大切なことは、今回の「学力確認テスト」の結果を一つの指標とし、各学年の子どもたちの状況に即して、「子どもたちの学力の向上に資する授業改善」をより一層推進していくことにあります。
- ◆各ご家庭では、紙ベースのドリルや、来年度から導入する、AI機能を搭載したデジタルドリルの活用等を通して、「漢字・言語事項」や「書くこと」を楽しく家庭学習が行えますように、お力添えいただけましたら幸いです。
- ◆今後更に、子どもたちの学力向上に向けて、保護者の方々とも連携して進めてまいりますので、なにとぞ、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

本校の教育活動等についてご意見・ご感想等がありましたら、連絡帳や電話等でご連絡いただけましたら幸いです。よろしく願いいたします。

